

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介します



合田 直弘

この冊子が皆様のお手元に届く頃、北米では5月最初の週末にチャーチルダーラインズで行なわれるケンタッキー・オーケストとケンタッキーダービー、英国では同じ週末にニューマーケットで行なわれる二千ギニーと英千ギニーの話題で、持ち切りのことを思つ。そんな中、北米牡馬3冠初戦のケンタッキーダービーで、おそらくは本命の座に祭り上げられているはずのカリフォルニアクローム(牡3歳)が、今月のこのコラムの主役である。

ネヴァダ州のカリフォルニアとの州境にあるトパーズレイクに住むステイーヴとキヤローラインのコバーンズ夫妻と、カリフォルニア州北部のユバシティに住むペリーとデニスのマーティン夫妻という、二組のかップルによる自家生産馬がカリフォルニアクロームだ。

09年2月7日、ゴールデンゲート競馬場の第5競走として行なわれたクレイミングレースに出走していた、カリフォルニアクロームの母ラヴザチエイスを、両夫妻が8千ドル(当時のレートで約73万円)でクリームしたことが、物語の発端となつた。夫妻がなぜ見染めたかといえば、理由は彼女の血統にあった。ラヴザチエイスの父ノットフォーラヴの2代母がナンバードアカウントで、ラヴザチエイスの母の父ボリ

ッシュナンバーズの母がやはりナンバードアカウントだから、ラヴザチエイスはナンバードアカウントの3×3というインブリードを持っているのだ。ナンバードアカウントは、G1ベルデイムS勝ち馬ダンスナンバー、G1ガルフストリームパークHなどG1・2勝馬プレイヴェートアカウントと、直仔に2頭のG1勝ち馬がいるだけでなく、リズム、ウッドマン、アサティスらが近親にいる超良血馬で、その名牝のきついインブリードを持っているならば、ラヴザチエイスも母となつてきっと良い仔を出すはずと見込んだゆえの、つまりは当初から繁殖として供用すること目的とした購買であつた。

10年春から繁殖生活に入ったラヴザチエイスの、初年度の交配相手に選ばれたのが、カリフォルニア州のハリス牧場で供用されていた種牡馬ラツキープルビットだつた。現役時代の成績、22戦3勝。G2・2着が最高の成績で重賞未勝利のこの馬を、なぜ交配したかといふと、2500ドル(当時のレートで約22万5千円)という種付け料が魅力だったこともあるが、ラヴザチエイスにラツキープルビットを配合すると、ミスター・プロスペクターの3×4のインブリードが出来上がるという、血統に詳しい両夫妻らしい意図があつたがゆえであつた。いずれにしても、母の購買金額と父の種付け料を合計し

デビューが2歳の4月26日と、仕上がツシュナンバーズの母がやはりナンバードアカウントだから、ラヴザチエイスはナンバードアカウントの3×3というインブリードを持っているのだ。ナンバードアカウントは、G1ベルデイムS勝ち馬ダンスナンバー、G1ガルフストリームパークHなどG1・2勝馬プレイヴェートアカウントと、直仔に2頭のG1勝ち馬がいるだけでなく、リズム、ウッドマン、アサティスらが近親にいる超良血馬で、その名牝のきついインブリードを持っているならば、ラヴザチエイスも母となつてきっと良い仔を出すはずと見込んだゆえの、つまりは当初から繁殖として供用すること目的とした購買であつた。

10年春から繁殖生活に入ったラヴザチエイスの、初年度の交配相手に選ばれたのが、カリフォルニア州のハリス牧場で供用されていた種牡馬ラツキープルビットだつた。現役時代の成績、22戦3勝。G2・2着が最高の成績で重賞未勝利のこの馬を、なぜ交配したかといふと、2500ドル(当時のレートで約22万5千円)という種付け料が魅力だったこともあるが、ラヴザチエイスにラツキープルビットを配合すると、ミスター・プロスペクターの3×4のインブリードが出来上がるという、血統に詳しい両夫妻らしい意図があつたがゆえであつた。いずれにしても、母の購買金額と父の種付け料を合計して、注目いただきたい。